

職員採用試験 総合点を出さないで どうやって判定しているの?

個人情報情報は黒塗りされています。

でもいろいろと分かることがあります。

「総合点」を書き込む欄がありません。複数の面接官の評価の合計点も出していません。市議会で指摘したら市は「総合点は出さず」「トータルで人間性など見て決める」と答えました。

すべてをきちんと数字にして客観的な判定をするよう定めている地方公務員法に抵触するのではないのでしょうか。コネなどで採用が行われることを防ぐために公務員法は透明性の高い採用試験のあり方を決めています。青梅市のやり方は不透明です。

青梅市職員採用試験結果表 (二次試験 平成18年10月31日)

【一般事務・大卒】

【一般事務・短大卒】

【一般事務・高卒卒】

情報公開で出てきた↑
職員採用試験結果表(二次試験)

みどりのオンブズマン

ひだ紀子

政党に属していません。市民の目で市政をチェックしています。



青梅市議会議員・議会報告

vol.16

御岳(みたけ)は今

ラフティング、ボルダリング(岩登り)そして登山に、多くの人が訪れています。カヌーをする人も「さまざまな地方の川と比べてもとびきり水がきれい」と言っています。私の姪は海辺から遊びに来て「御岳は山のリゾートだ!」と感激していました。自然環境に惹かれて都会から移り住む若者もいます。これから人口が減ると言われる青梅の西部地域ですが、豊かな可能性があると思います。

調査を続けている市民団体↓



エコセメント化施設周辺の放射能

環境市民団体「たまあじさいの会」の1年以上に及ぶ定期的な調査で、長淵丘陵のエコセメント化施設近くの尾根のいくつかの地点で放射性物質による汚染が進んでいることが明らかになりました。エコセメント化施設の影響が考えられます。

私自身も計測に行き、昨年12月議会で取り上げました。市に独自調査するよう求めましたが、市長はその必要を認めませんでした。拡散した放射性物質は場所により濃縮する可能性があり、今後も目を離せません。

長淵丘陵尾根 1	139100 ベクレル /m ²
長淵丘陵尾根 2	106795 ベクレル /m ²
永山	22165 ベクレル /m ²
七国峠	7995 ベクレル /m ²

ひだ紀子議会報告16号いかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想をお聞かせ下さい!

議会内会派名 〈みどりのオンブズマン〉 ひだ紀子議会報告 vol.16 2013. 春

連絡先: 〒198-0171 青梅市二俣尾2-520 フォレスト青梅201
tel/fax 050-1332-9289 メールmidorionbu@msn.com



☆ホームページもご覧ください。 **ひだ紀子** で検索できます

国体で使われるカヌー艇庫↓



多摩川の流れ↓



考えてみよう 自治体の借金について

青梅市が平成7年に買った青梅スタジアム(野球場・テニスコート)は約28億円。この借金、17年たった今も残っています。完済まで20年間かかる予定で、その利子は6億円を超えます。つまり28億円で買って市民が支払うのは34億円となるのです。自治体の買い物は将来の借金となって財政を圧迫します。

このところ青梅市は臨時財政対策債という借金をぎりぎりいっぱいまで借りています。25年度は29億円借ります。国がめんどうを見えてくれる建前ではありますが、全額めんどうを見せてくれるかどうかは不明です。「利子を払うためにまた借金」という悪循環に陥るおそれもあります。慎重でなくてはなりませんね。



青梅は青梅？

でも、いろんなところと比べながら

いい町にしていきたいですね。

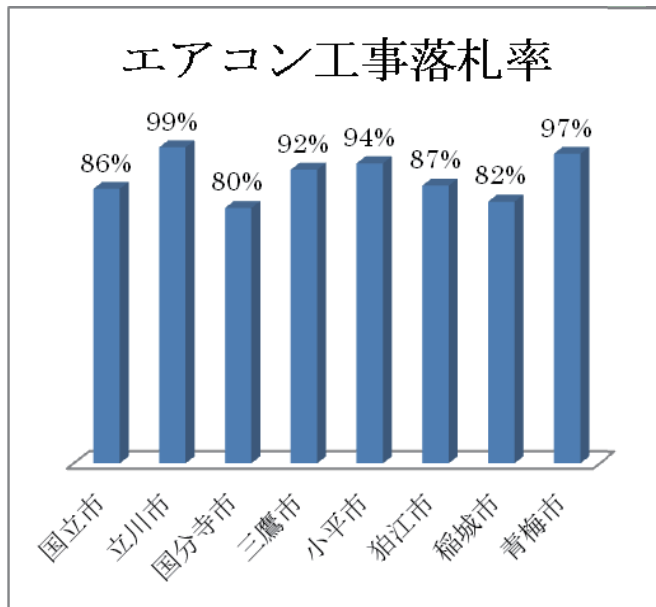
ひだ紀子はこうチェックしています



入札や発注の工夫で1億円2億円の差が出る公共工事
財政への影響は大きいです
青梅市も入札改革を進めなくては！

市内小中学校25校のエアコン取り付け

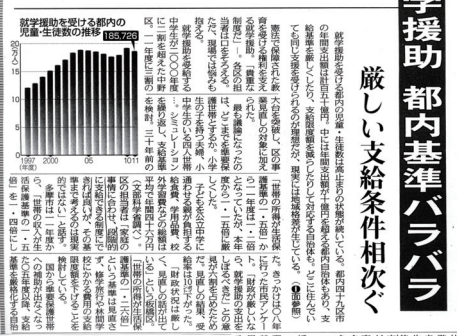
予定価格が約9億8千万円。指名競争入札で約9億5千万円で契約しました。ちょうど同時期に多摩各市でも取りつけたので、比較してみると、



青梅市の落札率高いですね。

- ・落札率が1%下がると青梅の場合約1千万円違ってくる。(予定価格との比較。以下同様)
- ・国分寺市のように80%の落札率だったら、青梅市のエアコン設置工事は約2億円安くなった。
- ・青梅市を除く7市の平均は89%。青梅がこの落札率ならば約1億1千万円安くなった。

自治体格差クッキリ



東京新聞 24年 10月 21日

就学援助

多摩で「中の下」の基準

家庭が経済的に苦しくなったとき小中学生に学用品費や給食費を補助する制度です。青梅市は保護基準の所得ワケが低く抑えられていて、多摩26市の中で「中の下」の福祉サービスとなっています。また都内ではこの援助を利用する割合が14年間に50%増えましたが、青梅市ではこの9年間補助を受け取る子どもの人数割合がほとんど変わっていません。青梅市の申請書類はとてもわかりにくい。そんなことも影響しているのではないかと考え、書類を簡素にすることを市に提案しています。世の中が厳しいときこそ子どもたちへの補助は大切だと思います。

天下りへの疑問

市が毎年多額の補助金を出している外郭団体などに、決まった席があるかのように市役所を退職した職員が就職しています。行財政改革推進委員会からも「慎重であるべきだ」と意見が出ています。議会で取り上げたところ、市は「市役所があっせんしているわけではない。問題はない」という答でした。市民の感覚と市役所の認識にはかなりのへだたりがあると感じます。

政務調査費の使い途 市民が監査請求

2人の前議員の22年度～23年4月にかけての使途に問題があるとして、市民から監査請求が出されました。専門家の意見を聞くとして、1回6万円、3回で計18万円を大学院生に支払った件と、市役所OBを講師にして2人だけでほぼ毎月勉強会をし1回4万円計44万円を支払った件です。両方とも契約書なし、日時も不明、成果物もありません。市の監査委員は請求を却下したので、請求者は裁判を起こしました。私もこの2件の使い途は納得いきません。

おかしいことは「おかしい」といえる町に

優先順位を考えよう

私たちの町はなんと305も公共施設を持っています。そのうち総合病院・福祉センター・市民センター・市営住宅など大きな建物の7割が30年以上前のものです。建て替えると莫大なお金がかかるので、直しながら長持ちさせなくてはなりません。補修には毎年20億円必要とされていますが、市税収入は5年連続減少のため、昨年度はわずか3千万円しか回せませんでした。こんなにもお金が足りないことを市民にきちんと公表するべきだと私は議会に言っています。市はケミコン跡地周辺の大きな道路の建設を進めています。限られた予算の中で優先順位を見直し、公共施設の補修をするべきではないでしょうか。

